

CCBA®合格体験記

IIBA®日本支部 BA 研究部会 役員会 書記長
神津 広相

2011年11月26日にCCBA®試験を受験し、12月29日にIIBA®本部から合格の通知をいただきました。今回の体験を寄稿いたします。今後、受験される方が参考にいただければ幸いです。

1. 受験申請

IIBA®日本支部のサイトからダウンロードできる出願画面ガイド、IIBA®日本支部のCCBA®&CBAP®説明会で配布された資料、更にCBAP®・CCBA®の受験対策本を参考に受験申請を行いました。CBAP®の合格者が増え、ノウハウが蓄積されてきたこともあり、申請自体は面倒ではあるものの、全体としては参考資料どおりに進み、特に躓くような箇所はありませんでした。あえて気をつけるべき点を挙げると以下のような点となります。

- ・ 他の皆さんも再三言われていることですが、プロジェクト作業はBAの業務経験時間としてカウントされません（出願審査の際、申請した時間数から削られてしまう）ので、注意が必要です。
- ・ 業務経験時間はEXCEL表などにまとめておいてから登録することをお勧めします。
- ・ 推薦者（REFERENCE）による推薦は、推薦者自身がWeb上で入力しないと完結しません。この入力は英語で行いますので、推薦者が英語に堪能でない場合、フォローしてあげる必要があります。
- ・ 受験料支払いは国際郵便為替よりも、PayPalの方が時間がかからないので、こちらをお勧めします。ただし、事前にPayPalに登録しておくことが必要となります。PayPalへの登録は画面のガイドがありませんので、ちょっと注意が必要です。

2. 受験勉強

夏にEEP主催のCCBA®対策講座を受講しましたが、本格的な勉強は受験当月になってから行いました。

<使用した教材>

BABOK®Ver2.0、EEPの対策講座の問題集、市販の対策本×2種類を用いました。問題は計600問以上が手元あり、500問程は解答しましたが、似たような問題も多いので、200~300問あれば十分であったように思います。

<学習方法>

① 社内での勉強会

- ・ 他の受験者と共にその場で50問程の問題を解き、複数人が間違えた問題に関してBABOK®を参照しながら、正解とその根拠について確認するという形式の勉強会を合計3回開催しました。

② 独学での問題練習

- ・ 勉強会の他に上記の教材を用い、多くの練習問題を解きました。ここでも正解とその根拠を BABOK®を参照しながら確認していきました。
- ③ まとめ資料の作成
- ・ 多数のテクニックや、混同しやすいタスク等、理解があやふやな部分に関し、独自に BABOK®の内容を簡潔にまとめ直した資料を作成し、理解の向上を図りました。
- ④ BABOK®の読み込み
- ・ 練習問題を通じて BABOK®にマーカーを引いた箇所を試験当日に 2 回、読み返しました。

3. 受験本番

<問題について>

いきなり 2 問目の問題がかなり難しく、以後 20~30 問目くらいまでは非常に考えさせる問題が続きました。その後は問題集でも見かけた BABOK®の一般的な知識を問う問題も出てくるようになりました。個人的な主観ですが、一般的な知識の問題が 6 割、ビジネスアナリシスの本質を考えさせる問題が 4 割くらい、という印象を受けました。

ビジネスアナリシスの本質を考えさせる問題ですが、単に BABOK®の記述を覚えているのではなく、BABOK®の記述内容を意味として理解していることが必要だと思いました。私の場合、練習問題を解き、BABOK®を参照しながら、正解の根拠を確認することで、それが多少なりとも身についた気がします。

全体としては、問題集そのままということはありませんでしたが、トリッキーな悪問はなく、難しくはあるものの、本質を問う良い問題であったと思います。

<時間について>

CCBA®は 150 問で 3 時間半という時間枠ですが、これは PMP の 200 問で 4 時間という時間枠に比べると圧倒的に余裕があります。個人差はあると思いますが、私は一問一問をじっくり解いていても見直しをする時間は十分に確保することができました。

4. まとめ

受験申請の複雑さ、市販の問題集と本番の試験との若干の違い等、試験総体として PMP と似ている点が多いと感じました。PMP 資格（特に PMBOK 第 3 版以降）をお持ちの方であれば、PMP 資格を取得した際のノウハウを動員し、PMP の時と同じくらいに習熟度を上げれば、十分に合格できると思います。

以上、簡単ではありますが、今後、受験される方の参考になれば幸いです。